

万一に備えたい人のための

救急医療情報 おたすけ箱

手作り編



《救急医療情報おたすけ箱》とは…



高齢者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医療機関」「服薬内容」「持病」などの医療情報や、親族等の「緊急連絡先」を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫内に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。

また、救急時には下記のような仕組みにより迅速な救急活動を行うシステムです。



おたすけ箱の活用イメージ図



おたすけ箱に入れるもの

1 救急医療情報

2 お薬の情報



1 救急医療情報

- 緊急連絡先
- かかりつけ医と持病
- 服薬内容
- 救急時の対応方法などを記載

2 お薬の情報

- お薬説明書、又はお薬手帳書(写)
(医療機関で発行されているものです。)

ご注意ください

- 「かかりつけ医」や「服薬情報」などの医療情報や「緊急連絡先」などの情報に変化があった場合は、その都度ご自身で、修正・変更をしましょう。
(古い情報のままだと万一の救急時に適切な対応が出来ない可能性があります。)
- 新たに救急医療情報の用紙が必要な場合は、地域包括支援センターにご連絡ください。
- ステッカーは救急隊がみつけやすいように、冷蔵庫の扉に貼り付けましょう。

おたすけ箱の保管までの流れ

- ① 容器を準備する。
- ② 「おたすけ箱」マークを印刷し切る。
- ③ 容器にマークを貼る。
- ④ 救急医療情報の用紙を記入する。
- ⑤ 必要書類を容器に入れ、冷蔵庫に入れる。
- ⑥ 冷蔵庫の扉にステッカーを貼る。
- ⑦ 居室や寝室など、救急隊員の目につきやすい場所にステッカーを貼る。

お願い

ステッカーは、救急隊が発見しやすいよう、冷蔵庫の扉に貼り付けましょう。

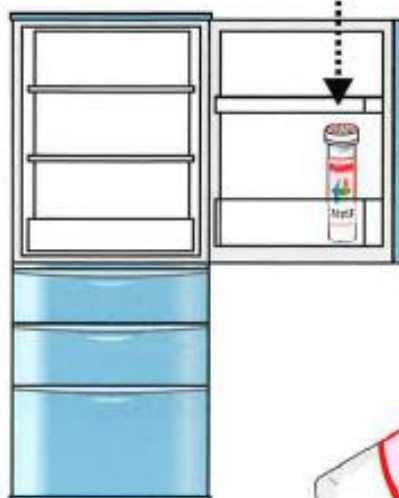
ステッカーの貼付場所

- おたすけ箱が収納されている冷蔵庫の扉



おたすけ箱の保管場所

- 冷蔵庫扉の内側



おたすけ箱をご利用にあたっては、以下の点をご了承ください。

- 冷蔵庫にステッカーが貼られている場合は、本人の同意を得ることなく、冷蔵庫を開けておたすけ箱を取り出すことがあります。
- おたすけ箱は、救急隊が救急活動に必要と判断した場合に活用いたします。そのため、おたすけ箱の保持者であることが分かっている場合でも、その救急活動によっては活用されない場合があります。
- 救急活動において、搬送先の医療機関を決める場合、本人の状態によっては、おたすけ箱に記載された「かかりつけ医療機関」に搬送されない場合があります。また「救急隊への伝言」についても必ずしも、その伝言を実行できるものではありません。

■お問い合わせ

いなべ市役所 長寿福祉課

TEL 0594-86-7819 FAX 0594-86-7865

いなべ市地域包括支援センター(いなべ市役所内)

TEL 0594-86-7818 FAX 0594-86-7866

【容器用】※容器の形状等はどのようなものでも構いません。

容器に合わせたマークを切り取って、用意した容器に貼りましょう。
ふたと側面など、見やすい位置に貼りましょう。



容器に合わせて選んで
貼ってください。



救急医療情報

おたすけ箱

【冷蔵庫用】

マークを切り取り、冷蔵庫の扉に
貼りましょう。

マグネットシートに貼ってから
取り付けても良いでしょう。



【居室や寝室用】

救急隊員に「救急医療情報が設置されている」と、分かるように、居間や寝室など、分かりやすい場所に貼りましょう。



救急医療情報

年 月 日記載

(ふりがな) 氏名	性別 男・女	生年月日 年 月 日 (歳) 血液型 (型)
住所：いなべ市		電話番号：
緊急時連絡先① 氏名： (続柄)		電話番号：① ②
緊急時連絡先② 氏名： (続柄)		電話番号：① ②

治療中の病名	かかりつけ医療機関	担当医師名 (診療科目)	電話番号
		(科)	
		(科)	
		(科)	

処方されているお薬 (薬の説明書を容器に入れること)		

既往歴 (何歳時) (大きな病気、手術など)	

特記事項 (アレルギーの有無など)	
----------------------	--

支援事業者など	事業者名/担当者名	電話番号
	/	
	/	

救急隊員への伝言：

注意：救急時は、正しい情報が必要です。医療情報が変更した時には、書き換えましょう。

記入の仕方

【緊急時連絡先について】

1. ご本人の状況を把握している方を優先してお書きください。
2. ご家族以外の方でも構いません。
3. 「続柄」には、ご本人との関係をお書きください。(例：(長男)・隣人など)
4. 電話番号は、連絡の取りやすい番号を①に、その他の番号があれば②にお書きください。(例：①には、携帯電話の番号・②には、自宅の番号など)

【医療の情報について】

1. 持病をお持ちの方、または現在治療中の方については、治療中の病名、かかりつけ病院名、担当医師名、診療科目、電話番号をお書きください。
2. 現在飲んでいるお薬の名前は、ご記入いただくか、お薬手帳の写しや、薬局でもらう薬の説明書、薬袋などを入れることでも構いません。
3. 既往歴には、大きな病気や手術などをお書きください。ご不明な場合には、主治医に「既往歴として書く必要がある病名か」ご相談ください。
4. 特記事項には、特定の病院でしか対応できない特殊なご病気をお持ちの場合や、主治医との決め事、アレルギーがあって使用できない薬剤名などをお書きください。

【支援事業者について】

1. ケアマネジャーやヘルパー、訪問看護師など日常的に関わっている支援事業所名と、担当者名、電話番号をお書きください。

【救急隊員に伝えたいことについて】

1. 特記事項以外に伝えておきたいことがありましたら、ご記入ください。

注意事項

1. 内容に変更があった場合には、書き換えしてください。
2. この「おたすけ箱」は、救急隊が救急活動に必要と判断した場合に活用します。そのため、病状などによっては、活用されない場合もあります。
3. 救急隊が搬送先の病院を決めるにあたり、ご本人の状態によっては「かかりつけ医療機関」に搬送できない場合があります。また、「救急隊に伝えたいこと」は、必ずしもその伝言を実行できるものではありません。
4. この用紙は、いなべ市地域包括支援センターおよびいなべ市社会福祉協議会に置いてあります。